



(頒価500円)

読み始めたら止まらない

佐藤 一美さん(横浜・保土ヶ谷の会)
学習して思ったことは、「知らない、知ろうとしない」ことは自分を貧乏におとしめる。「ウン

全国の会のブックレット『あらためて問う憲法9条+25条&消費税』は発行とともに反響が広がり、増刷を重ねています。感想も次々寄せられています。一部を紹介します。

ブックレット好評 感想が次々と

を見抜けない」ことは、これまで貧乏になっていく…。

子どものころは「金は天下のまわりもの」と母親に言われ一生懸命働いていただけ、税金のことなど分かりませんでした。

その後、大きな買い物には物品税があることを知り、1989年に消費税が始まり、買いたいものに3%のことなど深くはわかりませんでした。それが5%になり8%になって、今や消費税の痛みに苦しむ毎日です。

うまいものも食えず、日帰りの旅にも行けない年金生活です。こんな老後にしたのはだれなの？ それがよくわかる本です。読み始めたら止まらない、どこからでも読める、「ああ、そうだったのか」とどんどん脳が働いてくれます。

原発事故前の「元に戻せ」

三浦 正雄さん(福島市)

私はいま、主に年金者組合で活動していますが、28年前に結成された時の4月には消費税が導入された年で、歴史的な年となりました。

あの東日本大震災の時の東京電力福島第一原発の「日本史上最大の公害」から、6年半になろうとしています。

今年10月には私も原告となっている「生業訴訟」の判決がだされます。政府は先に核の「ごみ」最終処分場の「適地特性マップ」を公表しましたが、日本のどこにも「適地」などありません。

社会保障の改悪を許さず、戦争税となる消費税をなくし、原発事故の前の「元に戻せ」の活動は今、歴史的な時を迎えています。

憲法が生活に生かされる社会のために、「あらためて9条、25条を守り消費税をなくせ」の活

動に参加していきたいと思っています。

かけがえのない力に

山本 直弘さん(兵庫・尼崎市)

二宮厚美神戸大名誉教授の講演は、消費税増税の反憲法的・反福祉国家的性質を白日のもとにさらしたものである。

特に、「恐怖からの自由」としての憲法9条と「欠乏からの自由」である憲法25条のきょうだいの関係としての両条文の内容が、相互に不可分に影響し合ったものであり、「貧困大国化と軍事大国化の悪循環」を断ち切る上で、かけがえのない武器になるものであると痛感した。

安倍暴走政治による軍事大国化が経済的徴兵制を呼び起こし、財源としての消費税増税が企まれるなか、野党共闘をすすめていく上で、本論考で展開された憲法に基づく消費税増税批判論は、多くの人々が身につける必要があると思う。